

船穂中タイムズ

令和2年1月21日発行

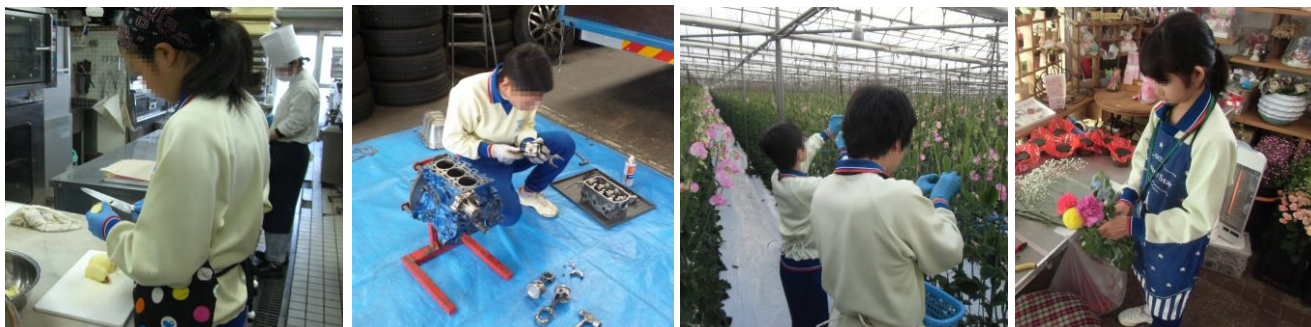
校長室だより No. 59

3年生が面接練習を行いました

1月14日（火）に、3年生を対象に一人一人面接練習を行いました。高等学校入学試験では、受験者の意欲などを評価するために面接が実施されます。そこで、全職員が分担して、志望動機などが明確かどうか、服装・態度・礼儀作法や話ぶりなどが適切かどうかをチェックしました。誰もが緊張していた様子でしたが、中学生らしい清潔な服装と誠実な態度で面接練習に臨むことができました。本番でも練習の成果を十分に発揮できるよう、心からエールを送ります。

2年生 職場体験活動(倉敷チャリツ・ワーク14)を実施しました

1月15日(水)から17日(金)までの3日間、2年生が56の事業所でそれぞれ職場体験活動を行いました。初めての体験で緊張したり戸惑ったりする場面もあったと思いますが、どの事業所でも懸命に働く生徒たちの姿を見ることができました。これらの体験を通して、また一回り大きく成長し、頼もしく思います。ご協力いただいた各事業所の皆様方に厚くお礼を申し上げます。



生徒の感想（一部抜粋）

●1日目は疲れたが、2日目は仕事の大変さを実感し、3日目は仕事の楽しさを実感できた。段々と自信をもてるようになり、あいさつや返事が大きな声でできるようになった。●立ち仕事はとても大変で、働いている人の大変さがよく分かった。一つ一つの作業を丁寧に一生懸命にすることに意味があるということがよく分かった。仕事はつらいこともあると思うが、自分に合った職に就いたときは、とても楽しいこともあると思う。●お客さんから「ありがとう」と言われて、とてもうれしかった。裏方の仕事を全部丁寧にやったうえで、はじめてお客さんの手に渡るんだと思った。今まで人に頼ることが多かったが、この体験で「自分で考える」ということが鍛えられたと思う。●仕事をするということがこんなにも身心ともに疲れるものなのかと実感した。母は仕事が終わって家に帰るとすぐに食事をつくったり、朝早く起きて家族の支度をしたりしている。本当にすごいと思う。●楽そうに見える仕事でも、実際にやってみると指が痛くなり、続けることが大変だった。●商品の店頭整理では、ちょっとした乱れや異なった並び順でも全て並べ直していてすごいと思った。細かなルールを全部覚えて仕事をしている社員さんには無駄な動きが全くなかった。●仕事に携わるには、注意深くまわりが見える人、色々なことに気を配れる人にならなければいけないと思った。●仕事はお金を稼ぐだけでなく、たくさんの方の役に立っていることを学んだ。●職場には細かいところまで色々な工夫がなされていることが体験して分かった。「働く」という大切さをしっかり考え、将来の自分に活かし、親が働いてくれていることに感謝しようと思う。●思った以上に裏方の仕事は大変だった。その体験をさせてもらったから、裏方の仕事も大事なんだなと感ずることができたし、必要のない仕事はないと改めて思えたのでよかった。●「仕事は慣れるけど完璧になることは一度もない。一生努力するしかない。」と教わった。この職場体験を元に、未来の計画を立てていこうと思った。